

新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全課
担当課長名：菊地 春海

事業の概要

事業名	地域高規格道路 新北九州空港道路 一般県道 新北九州空港線 苅田工区	事業区分	地方道	事業主体	福岡県
起終点	自：福岡県京都市郡苅田町松山 至：福岡県京都市郡苅田町若久町	延長	1.1 km		
事業概要	新北九州空港道路は、広域交流拠点である北九州空港と高規格幹線道路である東九州自動車道との連結機能を有する延長約8 kmの地域高規格道路である。 一般県道新北九州空港線 苅田工区は、新北九州空港道路の一部を構成する区間であり、交通渋滞の緩和や交差点死傷事故の減少、地域の産業・経済の活性化に大きく寄与する道路である。				
事業の目的、必要性	一般県道新北九州空港線 苅田工区は、北九州空港と東九州自動車道(苅田北九州空港IC)とを連結し、東九州自動車道を軸とした福岡県北東部の交通ネットワークを形成するとともに、県道門司行橋線と交差する空港IC入口交差点を立体化により、北九州空港へのアクセス向上や安全性の向上に資する道路である。				
全体事業費	37億円	計画交通量	20,500台/日(高架部 9,800台/日) (一般部10,700台/日)		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
苅田町や北九州市など福岡県北東部6市1町で構成される福岡県北東部地方拠点都市地域整備推進協議会より「苅田北九州空港ICから北九州空港へのアクセス道路整備」を要望されている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
-

事業採択の前提条件
費用対便益：便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.1	総費用：31億円 （事業費：30億円 維持管理費：1億円）	総便益：35億円 （走行時間短縮便益：30億円 走行費用減少便益：2億円 交通事故減少便益：3億円）	基準年：平成27年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.18 (交通量+10%)	B/C=1.08 (交通量-10%)	
		事業費変動	B/C=1.03 (事業費+10%)	B/C=1.25 (事業費-10%)	
	事業期間変動	B/C=1.11 (事業期間+20%)	B/C=1.17 (事業期間-20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	交差点の立体化により、交通渋滞が緩和される。 【北九州空港へのアクセス向上（ピーク時の交通渋滞緩和）】	
		事故対策	◎	交差点の立体化により、交差点死傷事故が減少する。 [死傷事故率] 【安全性の向上（事故の減少）】 ・1,171.5件/億台km(現況) ※県平均死傷事故率 189.8件/億台kmの約6倍	
	歩行空間	-	注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	○	第三次救急医療施設「北九州総合病院」へのアクセスが向上する。	
		地域経済	○	北九州空港へのアクセスの向上により、空港利用者の利便性が向上する。 また、人流・物流の定時性、速達性が向上することで、産業の振興や雇用の拡大が期待される。	
		災害	-	注目すべき影響はない。	
環境		-	注目すべき影響はない。		
地域社会	○	東九州自動車道を軸とした交通ネットワークを形成することで、九州各地域間の交流が活発化するとともに、九州各地の観光資源を結ぶ周遊型観光が可能となり、観光客の拡大が期待される。			
事業実施環境	○	・苅田町や北九州市など福岡県北東部6市1町で構成される福岡県北東部地方拠点都市地域整備推進協議会より「苅田北九州空港ICから北九州空港へのアクセス道路整備」を要望されている。			

採択の理由

事業主体である福岡県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が1.1と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、交通渋滞の緩和、交通事故の削減、高次医療施設へのアクセス向上が図られるなど、当該事業の整備の必要性、効果は高いものと判断される。
以上により、本事業を平成28年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。